

# 黒潮水域におけるリアルタイム海況

## モニタリング手法の開発

黒潮研究部

協力機関：都道府県研究機関

### 研究の背景・目的

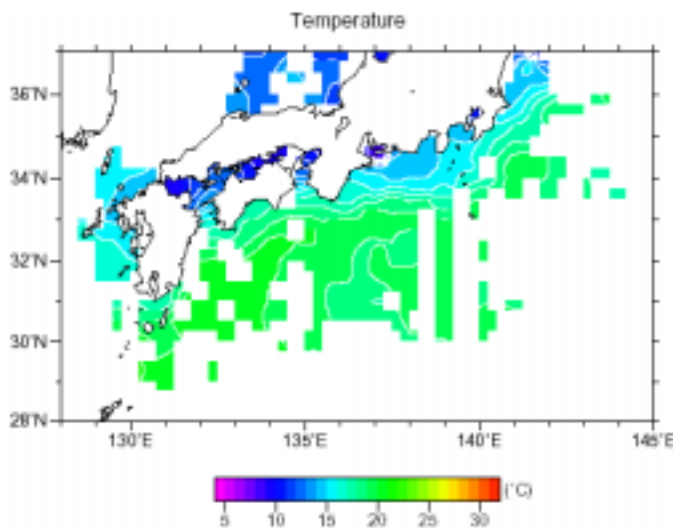
- 1 . 黒潮水域では多くの試験研究機関が継続的に海洋環境を調査している
- 2 . 定線・定点における海洋環境調査データを有効に利用する必要
- 3 . 漁獲量情報を含めたリアルタイム海況モニタリング手法の開発が必要

### 研究成果

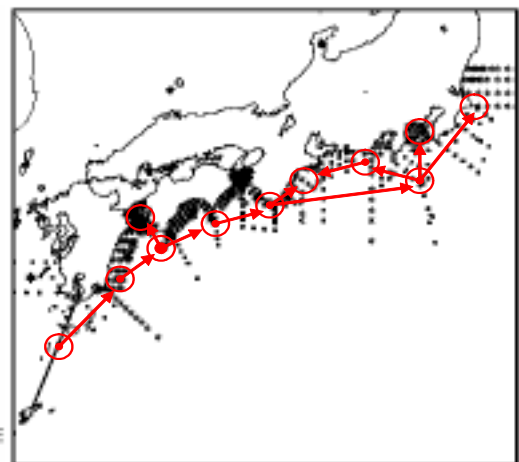
- 1 . 水温水平分布図、水温断面図、時系列変動図などを作成した
- 2 . 調査データを迅速に解析し、海況を把握するシステムを検討した
- 3 . 浮魚礁ブイやカー・フェリーによる表層水温収集システムを検討した

### 波及効果

- 1 . 漁場の判断など操業の効率化に貢献できる
- 2 . 漁業者が日々の操業に利用することができる
- 3 . 今後、漁海況速報として有効に活用されるシステムの開発が必要



黒潮水域の海洋構造



リアルタイム海況モニタリング構想